

ねっとわーく

市町村のページ〔特集：特色ある公民館活動〕

- ・ふれあえるまち曾根東 ……北九州市立曾根東市民センター
- ・子どもが不審者と遭遇した場合に備える
～『子ども110番の家』駆け込み訓練～
……赤間西地区コミュニティ運営協議会
- ・コロナ禍における公民館活動のあり方 ……智徳区公民館
- ・～地域力の向上を図るため「夏休みときめき学習」を10年間
続けてきて～…嘉麻市中央公民館

こちら県公連

- ・第66回福岡県公民館大会事業報告

令和3年11月 公民館情報通巻151号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575

福岡市博多区東公園7-7

福岡県教育庁教育振興部社会教育課内

TEL 092-643-3887

FAX 092-643-3889

特色ある公民館活動



曾根干潟クリーン作戦の様子
(北九州市)



「子ども110番の家」駆け込み訓練
(宗像市)



サツマイモ掘りの様子
(広川町)



学習タイムの様子
(嘉麻市)

ふれあえるまち曾根東

北九州市立曾根東市民センター

【地域の概要及び経緯】

本校区は、高台に上がれば、その昔に干拓された広い田園地帯と縦横に流れるクリーク、北部九州最大の曾根干潟が見渡せます。曾根干潟は、国内有数の野鳥の越冬地であり、絶滅危惧種である「生きた化石」カブトガニをはじめとする底生生物の生息地として極めて重要な干潟です。そんな恵まれた環境の中で、地域の宝である子どもたちに、曾根干潟をはじめとする豊かな自然やそれらと向き合っている人々の生き方などに会い、かかわり、学ばせることによって地域を愛し、地域に誇りをもつ子どもの育成に努めたいと考えます。

【活動内容】

○曾根干潟クリーン作戦：平成5年、当時の小学6年生の発案でスタートし、今では、年2回小学校や地元住民をはじめ、保育園、デイサービスセンター、地元企業、野鳥を守る会、環境局等が参加する地域の一大行事として定着しています。

○地域の清掃活動とそうめん流し：地域の方々が近隣の山で青竹を伐採し、研磨し、専用レーンを作成します。子どもも大人も清掃活動で汗を流した後、流しそうめんを頂きます。

○子ども囲碁クラブ：「囲碁将棋同好会」の方々が講師となり、「子ども囲碁講座」が年間18回開催されます。小学1年生から6年生まで、おじいちゃん先生に教わりながら、囲碁の楽しさを体験し、よい異学年交流の場にもなっています。

○凧作り凧揚げ：「竹とんぼクラブ」の方々が、凧の骨組みの竹や和紙などを準備し、地域の子どもや大人と一緒に凧作りを行います。完成後は、小学校の運動場で凧揚げ大会で楽しめます。

以上、「ふれあえるまち曾根東」をスローガンに、地域の知恵に学ぶ体験学習を継続実施してきました。今年度は、元小学校PTA会長の音楽家の方による「コンサート」や、本センター館長及び職員の講師による「サイエンスショーと科学工作」を準備しているところです。

【成果と課題】

子どもたちは、地域での様々な体験を通して、多くの大人たちから支えられ見守られていることを実感し、自分もこの地域の一員であることを自覚してきています。そんな子どもたちは、地域の大人たちへの尊敬と感謝の気持ちをもつとともに、地域の「人・もの（自然）・こと」に対して誇りに思う気持ちが、これまで以上に強くなってきていると考えます。

今後は、自分の住んでいるまちに対する誇りや愛着を感じるシビックプライド醸成のために、市民センターが、子どもたちと地域との更なる出会いを創出するとともに、学校と地域の継続的な連携を図り、子どもたちと地域をしっかりとつないでいきたいと考えます。

【曾根干潟クリーン作戦の様子】



【そうめん流しの様子】



【問合せ先】 北九州市立曾根東市民センター

〒800-0217 北九州市小倉南区下曾根4-22-3

TEL 093-471-7710 FAX 093-471-7602

子どもが不審者と遭遇した場合に備える
～『子ども110番の家』駆け込み訓練～

赤間西地区コミュニティ運営協議会

【地域の概要及び経緯】

赤間西地区は、宗像市の玄関口とも言える JR 赤間駅北口を中心として広がる地域です。また周辺には、商業・医療・スポーツ等の複合施設へ徒歩で行くことのできる、地理的に恵まれた地区です。赤間西地区コミュニティ運営協議会は、地区が持つ特性を生かした事業展開、つながりと協働によるコミュニティづくりを進めています。特に基本方針の一つ「安全・安心なまちづくり」の推進で、とりわけ子どもの安全を守るために注力しています。

【活動内容】

「子ども110番の家」とは、子どもが危険やトラブルに巻き込まれそうになった時に、安心して立ち寄り駆け込んだりできる避難所のことです。子どもが、実際に「子ども110番の家」に駆け込めるか、「子ども110番の家」協力者の保護・通報等の対応について理解を深めていただくということで、令和2年から訓練を始めました。

＜「子ども110番の家 駆け込み訓練」のシナリオ＞

①ボランティアスタッフによる模擬実演（寸劇）

- ・帰宅途中で児童に不審者役が声をかける
- ・付きまとわれた児童が大声を出して逃げる
- ・「子ども110番の家」を見つけて駆け込む
- ・「子ども110番の家」の協力者役は、児童を適切に保護し、110番（模擬）通報する。

②学年代表の児童参加による実演

③宗像警察署から講評と講話

④児童から感想発表

令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、ボランティアスタッフによる模擬実演を各教室のタブレット端末やモニターへ配信する非接触型の（リモート）訓練を実施しました。

【成果と課題】

参加した児童から『今日学んだことをいざというときに活かしたい』『110番の訓練は、自分の身を守ることだと思いました』等の率直な感想が聞けました。駆け込み訓練を体験することで、いざというときに駆け込むことが出来るように、今後も訓練を継続したいと考えています。

また、登下校以外の時間帯でも安心して避難できる観点から、地区内にあるコンビニに「子ども110番の家」の協力をお願いし、オーナー様から快諾していただきました。



【問合せ先】 赤間西地区コミュニティ運営協議会（コミュニティ・センター）
〒811-4143 宗像市三郎丸5丁目2番24号
TEL 0940-38-9506 FAX 0940-38-9507

コロナ禍における公民館活動のあり方

智徳区公民館

【地域の概要及び経緯】

智徳区は、広川町の西端に位置し、238世帯、673人が居住しており、苺・ぶどう・電照菊・ガーベラ等が生産される農業が盛んな地区です。智徳分館においては、区民相互の親睦、文化の向上、民主的な住みよい町づくりをめざし様々な行事を行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、多くの行事を中止せざるを得ませんでした。そこで、新しい生活様式を踏まえた公民館活動の推進のもと、区民一人一人の安全・安心な生活をめざしていきたくて考えました。

【活動内容】

公民館活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、①公民館利用「注意事項」の掲示及び回覧板での周知、②手指消毒液の設置、③非接触型体温計の設置、④テーブル等の消毒液の設置、⑤台所、トイレの手拭きタオルの撤去及びペーパータオルの設置等を行いました。

各団体の会議時には、3密（密集、密閉、密接）を避けるために、参加人数の制限、窓の開放、1つのテーブルに1人が座る等の対策をとりました。今後の行事の参考になるようにと、対面を避け、隣との間隔をとった上で行う弁当会食（黙食）を試行しました。今までとは異なる生活様式ではありましたが、久しぶりに「つどう」ことができ、互いの顔を見合わせながら温かい雰囲気の中で会食することができました。

10月には、子供・保護者・老人会等によるサツマイモ掘り（智徳サロン）を行いました。屋外で行う行事であり、安全・安心を確保した上で楽しく活動することができました。



【写真1：会食の様子】



【写真2：サツマイモ掘りの様子】

【成果と課題】

コロナ禍において、室内で行う3密を避けた会議や会食、屋外で行うサツマイモ掘り等の安全・安心を確保した行事のあり方を明らかにすることができました。様々な制約のもとで行う行事ではありましたが、互いの顔を見合わせる行事に参加することで「つどう」ことの大切さを改めて実感することができました。

今後、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた行事を繰り返し行うことで、区民一人一人が新しい生活様式を身につけ、安全・安心な生活を送ることができるようにしていきたいと考えています。

【問合せ先】 広川町中央公民館

〒834-0115 福岡県八女郡広川町大字新代1840-1

TEL 0943-32-0093 FAX 0943-32-4287

～地域力の向上を図るため「夏休みときめき学習」を10年間続けてきて～

嘉麻市中央公民館

【地域の概要及び経緯】

平成18年3月、旧山田市、旧稲築町、旧碓井町及び旧嘉穂町が合併し、嘉麻市が誕生しました。福岡県のほぼ中央部に位置し、日本山岳遺産に認定された嘉穂アルプスと遠賀川の源流を有し、水と緑が豊かで、人口が約36,000人のまちです。

本市には中央公民館と旧市町単位を管轄とした地区公民館が4館、山田地区と嘉穂地区にそれぞれ分館が4館あり、計13館の公立公民館があります。

平成21年度に、地域と子どもたちを繋げる事業について模索していたところ、同年度開催の第28回中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会で福岡県広川町が発表された「夏休みきらめき学習」が嘉穂地区公民館の地域活動指導員の目に留まり、本市でその事業を実践してみようと平成22年度から嘉穂地区を本市のモデル地区として地区公民館主導の下、嘉穂地区の分館で実施するようになりました。嘉穂地区を選定した理由は、当時それぞれの分館区域に小学校があり、地域と小学校が密接な関係にありましたが、平成26年に5校ある小学校が1校に統合され、小学校がなくなる地域が増えてくることから、これまで小学校が担っていた地域と子どもたちの交流の場を、今後は分館が担わなければならないという危機感があったからです。

【活動内容】

- ①事業名 「夏休みときめき学習」
- ②時期 夏休み中の数日間（お盆、出校日、地域の行事と重ならない日）
- ③時間及び内容
9時～10時・・・学習タイム 夏休みの宿題を自主学習。地域のボランティアや学生ボランティア等がサポートをおこなう。
10時～12時・・・体験学習 川遊び、料理、木工、ふるさと探検など地域の方と一緒に体験や学習をおこなう。

【成果と課題】

現在の嘉穂地区では、小学校の先生方や学生・地域ボランティアの協力を得ながら分館主導（地域主導）で事業を実施しており、平成29年度からは嘉穂地区以外の地区公民館や分館でもこの事業を実施しています。しかしながら、分館のない地域では、今も地区公民館主導（行政主導）で事業を実施していることから、地域の方が事業へ「参加する」から「参画する」へ変わる体制づくりが今後の課題となっています。



【写真1 学習タイムの様子】



【写真2 体験学習：ソーメン流しの様子】

【問合せ先】嘉麻市中央公民館

〒820-0592 嘉麻市上臼井 446 番地1

TEL 0948-62-5722 FAX 0948-62-5693

第66回福岡県公民館大会事業報告（動画配信）

【県大会テーマ】

『持続可能な地域づくりに向けた公民館活動の在り方』

「今こそ、地域を結ぶ新しい時代の公民館～温故知新～」

1 概要

本年度は、第43回全国公民館研究集会 第72回九州地区公民館研究大会福岡大会を兼ねての開催をいたしました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会は動画配信で開催しました。配信期間は、令和3年11月8日（月）9：00から令和3年11月26日（金）17：00までとし、大会専用HP上での限定公開で実施しました。約1,734名の方から申込みをいただき、コロナ禍における研修の機会のニーズの高さを感じました。

収録内容は、県公連会長の挨拶及び記念講演、各分科会、次年度開催地鹿児島県の挨拶になっています。記念講演では、NGO法人ペシャワール会会長村上優氏による「中村哲氏が遺したものと社会教育～持続可能な地域づくりのために～」と題して講演をしていただきました。また、分科会では、福岡県から9本、九州各県から7本の実践発表を行っていただきました。



【九州地区公民館研究大会福岡大会誌】

配信期間終了後は、各市町村に配信した動画をDVDにして、配付します。今回残念ながら期間中に環境が整わなかった方や時間がとれなかった方に見ていただいたり、改めて各公民館の講座等で視聴していただいたりするなど、御活用いただければと考えております。

2 分科会

今回は、Zoomで分科会を行いました。どのような仕上がりになるか不安でしたが、8分科会を全て動画撮影しました。

討議のテーマを、『活動が活性化したきっかけ（ひと・もの・こと）は何か？』『連携・協働（活動）していく上で気を付けている点は何か？』『今後も継続・発展させていくために、大切にしたいことや工夫していきたいことは何か？』とし、質疑・助言を行うことで発表内容をさらに深めていくことができました。

初めての動画配信による分科会でしたが、発表者が取り組まれている地域の様子を分かりやすく伝えることができました。集合型の大会とは違い全ての分科会

を視聴できたことは、今までにない多くの地域を知る機会になったのではと思っています。

分科会	テーマ	事例発表者		助言者
1	地域・学校・家庭が連携・協働した活動	熊本県	福岡県 八女市	熊本県
2	家庭教育・子育てを支援する活動	長崎県	福岡県 鞍手町	長崎県
3	人生100年時代へ対応するための活動	宮崎県	福岡県 吉富町	宮崎県
4	誰一人取り残さないまちづくり	福岡県 篠栗町	福岡県 筑紫野市	福岡県
5	自治公民館活動	沖縄県	福岡県 福智町	沖縄県
6	青少年の成長と自立を促す活動	鹿児島県	福岡県 久留米市	鹿児島県
7	防災や防犯のまちづくり	大分県	福岡県 北九州市	大分県
8	コロナ禍における公民館活動	佐賀県	福岡県 福岡市	佐賀県

3 視聴された方の感想

【記念講演について】

- ・福岡の技術がアフガニスタンで生かされていました。地域が持っているいいもの、伝統的なものを見つめ直すきっかけになりました。
- ・メディアでしか知らなかった中村医師の雄姿が、村上会長と大島先生のインタビューで目に浮かんできました。中村医師の偉業は、私たち自治公民館活動の原点であると思います。このことを胸に刻んで今後の活動に励みます。

【分科会について】

- ・今出来ること、今やっていくことを明確に学ぶことができ参考になりました。「学ぶ・つなぐ」にチャレンジしていきます。
- ・コロナ禍での活動には、皆さん大変苦勞されているようです。公民館事業を实践するうえで直接対面できなくても工夫することで活動できることを学ぶことができました。大変参考になりました。
- ・若い世代が地域に興味を持つきっかけづくりや、人間関係が希薄なっても伝統事業が滞っていない等の学校・地域が連携して地域ぐるみの教育を行うことが望ましい。支え合いの気迫が人材づくり地域創生に繋がるのではないかと話されたことが私のこれからの事業の取り組みの参考になりました。
- ・コロナ禍における公民館活動でチャレンジする公民館。会えなくてもつながる活動。考えたら、いろんな考えが出てくるのが素晴らしいと思いました。

【その他・御意見等】

- ・自分が機器関係に弱いもので、うまく操作ができませんでした。しかし、これからは Web 配信等を活用して会議のやり方、情報のスピーディーな流れなど大いに活用すべきだと感じました。
- ・安全面からはよかったのではないと思うが、“つながる”ことが実感できず残念でした。(仕方がないのですが)
- ・公民館活動は全国的に担い手、役員不足により運営が厳しくなっているが、まずは若い世代が地域に関心を持ち、学校と地域が連携した地域コミュニケーションを発展させ、子どもたちと高齢者の絆を築き多様な人が活動に参加できるように日常生活を基本とした学びの場を持ち合わせた活動にしていくことが大切ではないかと感じました。

※その他多くの方からたくさんの御意見をいただいております。今後、報告書を作成し参加者の皆様のもとへお送りいたします。

4 来年度に向けて

本大会を開催するに当たっては、公民館がこれまでに経験したことのない困難に直面し、何もかもが手探りの状態でしたが、皆様の御協力のおかげで、動画配信という形ではありますが、実施することができました。心より感謝申し上げます。また、多くの方々からアンケートに御回答いただきました。たくさんの御意見・御感想、温かいメッセージをありがとうございました。

来年度の福岡県大会は、8月23日（水）に九州大学伊都キャンパスで開催する予定です。

九州大学の学生から各地域での取り組みや県外大学生との交流により得た情報を県大会参加者へ提供したいという要望があがっています。

来年度は、コロナ禍が収束を迎え、皆様と笑顔で集える日を夢見て、この困難を乗り越えていきたいと思っております。

さらに実り多き大会となるよう改善に努めてまいりますので、今後とも公民館活動の充実・振興のために御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。